

見学会「国重文・旧遷喬尋常小学校校舎—見えないところも見せます!—」開催要項

旧遷喬尋常小学校校舎は、国指定重要文化財です。

明治40年(1907)年の落成以降、平成2年(1990)までの83年間を現役の小学校校舎として、その後もなつかしい地域の学び舎として保存が図られています。

平成11年(1999)には、明治の小学校建築としては中国地方有数の規模、独特なデザインに大きな価値が認められ、国の重要文化財に指定されました。併せて、設計した岡山県技師・江川三郎八の存在も、ゆかりの地である岡山・福島両県を発信地として、全国的に注目されつつあります。

真庭市では今年度、本校舎の保存と活用に向けた構造調査を進めているところですが、調査の過程で、建築にまつわるさまざまな謎と秘密が明らかになりつつあります。そこで今回は、調査の経過報告として、謎まだ多い建築師・江川三郎八による意匠(デザイン)・構造・工法について、日ごろ見ることのできない場所や、新発見資料も公開し、旧遷喬尋常小学校校舎の真の姿と建築の価値に改めて迫ります。

名 称 見学会「国重文・旧遷喬尋常小学校校舎—見えないところも見せます!—」

主 催 真庭市教育委員会 **共 催** 真庭市

協 力 新東住建工業株式会社 真庭エスパス文化振興財団 真庭市文化財保護審議会
(五十音順)

日 時 平成27年12月12日(土)・13日(日)

10時～ 13時～ 15時～ の3回

※所要時間は各1時間程度。校舎内外の見学は適宜可。

場 所 旧遷喬尋常小学校校舎(岡山県真庭市鍋屋17-1)

正面玄関前集合(特に予約はありません)

参加料 無 料

事業概要 ・ミニレクチャー「旧遷喬尋常尋常小学校—真庭地域の江川式建築—」

※旧遷喬尋常小学校校舎をはじめ、地域の擬洋風学校建築を紹介します。

・旧遷喬尋常小学校の創建時に使われていた「^{ひしぶき}菱^{ひらいたがわら}葺の平板瓦」など初公開

※日本瓦としては非常に珍しい、特殊な瓦などを初公開します。

・調査足場を利用しての屋根裏のトラス構造(江川の独自考案)や、外壁上部等の見学

※用意したヘルメットを着用。動きやすい服装、運動靴でご参加ください。

※1度に10人ごとでの入れ替わり見学になります。

・見学過程で適宜、調査担当者等による解説も行います。

そ の 他 校舎内・周辺での喫煙や火気の利用はご遠慮ください。

問い合わせ 真庭市教育委員会 生涯学習課 文化財グループ(谷岡・森)

〒719-3292 岡山県真庭市久世 2927-2

電話:0867-42-1094 ファックス:0867-42-1416

メールアドレス shohgai@city.maniwa.lg.jp